Liebert GXT-UPS
追加バッテリキャビネット
設置マニュアル

GXT36VBATT-J
GXT36VBATT-J-RM
GXT72VBATT-J
GXT72VBATT-J-RM

Revision 01 5/09

目次

1. 大切なお知らせ 3
1.1. 安全注意事項 3
2. 正面と背面のパネルについて 6
2.1. 正面と背面のパネル説明 6
3. 設置と操作 7
3.1. 開梱 7
3.2. 設置場所の選定 9
3.3. 設置手順 10
3.3.1. タワー型設置方法 10
3.3.2. ラックマウント型設置方法 12
3.3.3. DC ケーブルの接続 14
3.4. バッテリの交換 15
4. 仕様 17
5. バックアップ時間表 18
5.1. バッテリのリサイクル・廃棄について 18
6. 保証約款 19

1. 大切なお知らせ

本装置を正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。本書には、追加バッテリキャビネットの取り付け手順・保守作業で守っていただきたい重要な安全上の注意事項が書いてあります。

1.1. 安全注意事項

● この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危険 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。
なお、注意に記載した事項でも、状況によっては危険な結果を招く可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険（製品の用途）

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しない。
※本機は、パソコンなどのFA ,OA機器に使用することを目的に設計・製造されています

● 人命に直接関わる医療機器やシステム。
● 人身の安全に直接関連する用途。
● 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。
● 上記に準ずる用途。

注意（設置・使用時）

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

● 本機質量はGXT36VBATT-(RM)J/GXT72VBATT-(RM)Jの質量は43.4kgです。
● 転倒や落下させると、故障したり怪我のおそれがあります。
● 本装置の重量に耐えられ、かつ水平な場所に設置してください。
● 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店へ問合せをしてください。
● ラック搭載の作業は必ず2人以上で行ってください。

長期間保管する場合、3ヵ月おきに12時間充電してください。

● ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリの特性が劣化し使用できなくなることがあります。
● GXT-UPSの入力プラグを商用電源に接続すれば自動的にバッテリを充電します。

分解、修理、改造をしないこと。

● 感電や、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。

● 指定方向以外で設置されると、バッテリが液漏れしたときの保護ができません。

環境温度が0～40℃以内で使用してください。

● 指定温度外で使用するとバッテリが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。

ケーブルをはさんだり、束ねた状態で使用したりしないこと。

● ケーブルの損傷や発熱により、感電や、火災を起こす危険があります。
● ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

同梱されている全ての付属品は、他の機器には使用しないでください。

● 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

前面および背面にある吸排気口は塞がないこと。

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリ劣化の原因となります。
- 壁から20cm 以上離して設置してください。

濡らしたり、水をかけないこと。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると火災を起こすことがあります。

平均周囲温度	期待寿命
20℃	3年
30℃	1.5年

※上記の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明や、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。

本機の上に物を乗せたり、金属物を落下させたりしないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。

本機を火の中に投棄しないこと。

- 鉛バッテリを内蔵していますので、バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

ラックモデルの設置は必ず付属のレールキットと取り付け金具の両方を使用し、固定すること。

- レールキット無しで前面金具だけで重量を支えることはできません
- ラックに設置する場合は、ラックの最下段に本製品を設置すること。
- 転倒や落下させるとけがをすることがあります。

取付けネジは必ず付属のものを使用すること。

- 付属品以外のネジを使用すると強度不足などにより、落下事故などの原因になる恐れがあります。

注意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- 落下による怪我、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 交換用バッテリ製品型番： GXTBP2-J

（製品名：GXT-UPS2000/3000RT/GXT36VBATT-(RM)J/GXT72VBATT-(RM)J交換用バッテリ）

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

- バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

- 失明や、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。
- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。
- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

 注意（保管時）

追加バッテリキャビネットを長期間保管する場合、以下の保管環境内で定期的に充電をしてください。
- 充電は、UPS に追加バッテリキャビネットを接続して、UPS を商用電源に接続して行います。
  （GXT2000RT/3000RT は UPS 背面パネルにある入力サーキットブレーカを ON にして行います。）
- バッテリの保管可能期間は充電した状態から6ヵ月です。（保管環境温度－15～+30℃の場合）
- 使用しない場合は、3 ヵ月おきに 12 時間再充電してください。

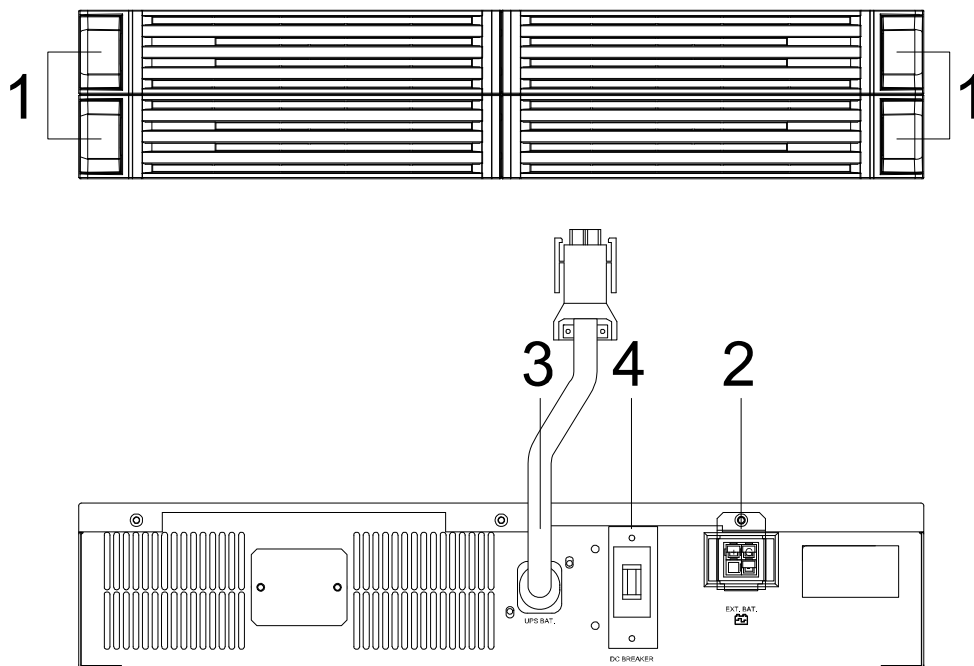
保管環境は仕様範囲を超えないこと。
以下の点に注意してください。
- 保管温度環境：−15～＋40℃（推奨温度：0～25℃）
- 周囲保存温度が30℃を超える場合は、2ヵ月おきに充電してください。
- 湿度が90%よりも高い場所に保管しないこと。
- 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所、極端に埃の多い場所、直射日光が当たる場所、震動や衝撃が加わる場所、屋外など。
- 火災などの原因になることがあります。

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。
- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し（結露）、そのまま通電すると故障することがあります。

追加バッテリキャビネットを保管される場合は、保管前に充電を行ってください。
- バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
  そのためバックアップ時間が短くなり、使用できなくなることがあります。

＜RoHS 指令について＞
エマソン・ネットワーク・パワー（ミズーリ州セントルイスのエマソン・エレクトリック社の戦略事業単位）は、UPS の環境保全としてバッテリを除き RoHS に準拠しております。これは弊社のグリーン化の一環として継続していくものとなります。

2. 正面と背面のパネルについて

2.1. 正面と背面のパネル説明

1.ネジ・カバー	バッテリ交換の際は、ネジ・カバーとその下にあるネジを外します。
2. EXT.BAT. +/−	外部バッテリ（＋／－）。次に接続するバッテリキャビネットのコネクタ（3 の部分）を接続します。
3. UPS BAT. +/−	UPS バッテリ（＋／－）。UPS の DC 端子（2 の部分）に接続します。
4. DC Breaker	DC ブレーカ。 1. バッテリ過電流保護ブレーカ 2. ブレーカを「0」の位置に入れます。バッテリキャビネットに別のバッテリキャビネットが接続されている場合、UPS バッテリ（＋／－）からの DC 電圧は、次のバッテリキャビネットに流れ続けます。

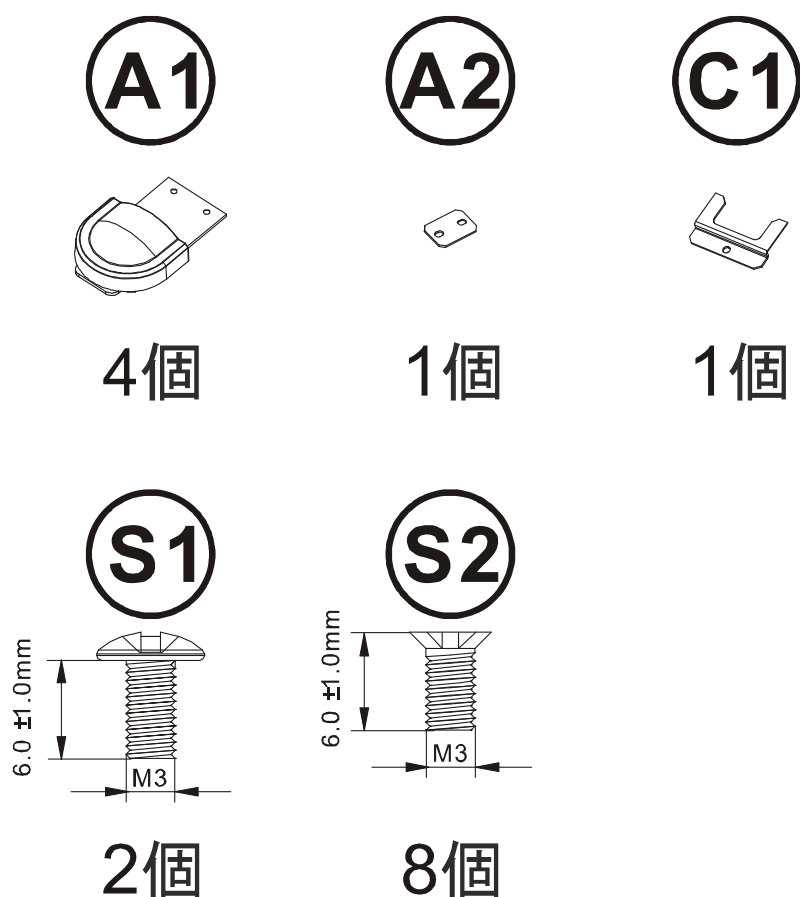
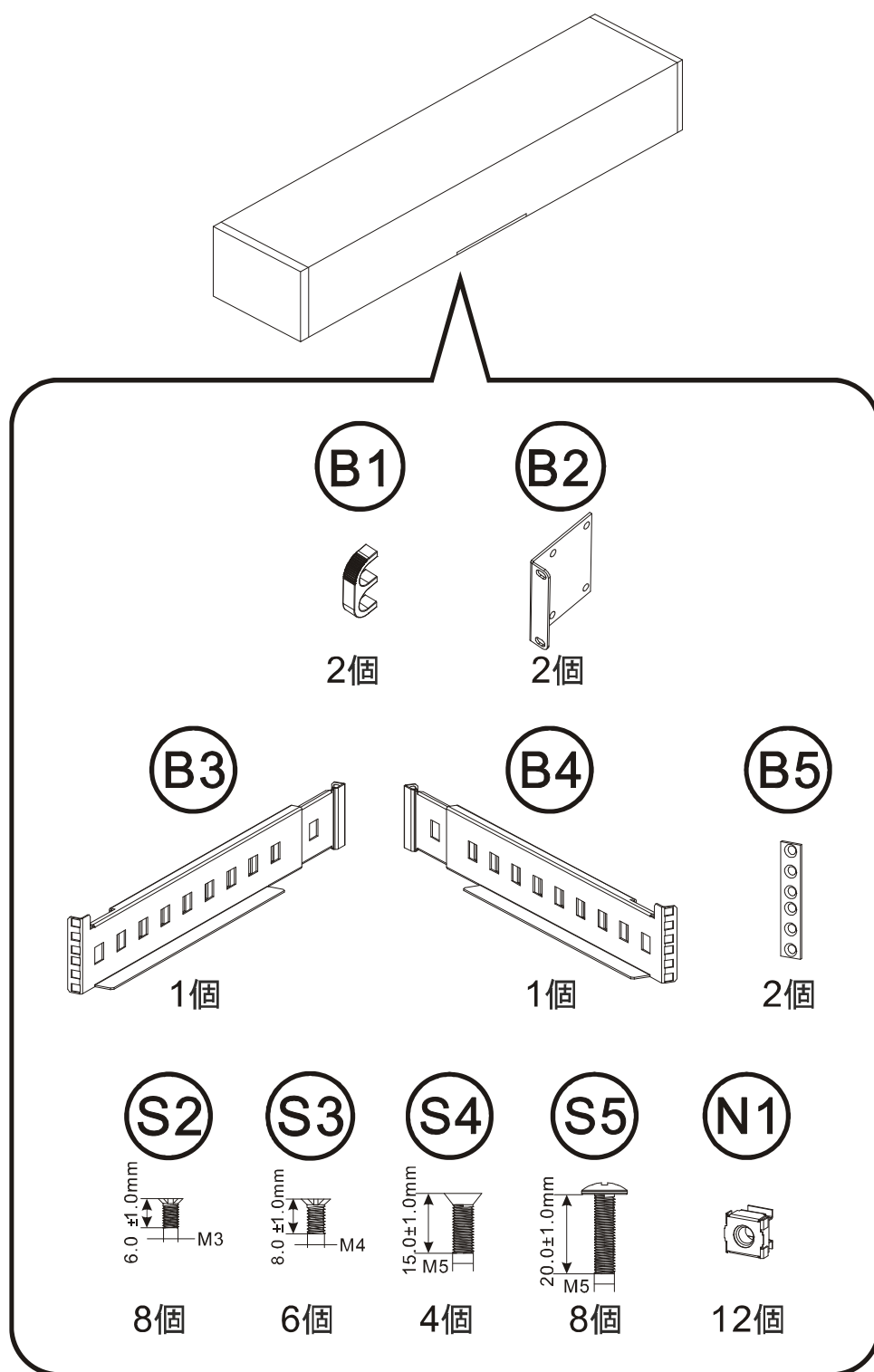
3. 設置と操作

3.1. 開梱

納品された追加バッテリキャビネットを点検します。工場では頑丈な梱包を施して製品を出荷していますが、輸送中に事故や損傷に遭うこともあります。梱包箱に損傷があった場合、本装置も損傷している可能性があります。もし損傷している場合には、輸送業者とお買い求めの販売店にご連絡ください。
梱包箱はリサイクル可能です。再輸送などのために保管をするか適切な方法で廃棄してください。
外箱から UPS を出します。同梱されている内容を確認してください。標準品には以下が付いています。

1. 設置ガイド
2. 設置用アクセサリ・キット

※ 設置方法については、3.3 設置手順をご参照ください

✧ 追加バッテリキャビネットタワー型用アクセサリ・キット 1 セット(下図参照)

✧ 追加バッテリキャビネットラック型用アクセサリ・キット１セット（下図参照）

3.2.　設置場所の選定

バッテリキャビネットは重量があるため、重量物に耐えることのできる場所、バッテリ寿命を長く保つために、以下の条件に合った状態でバッテリキャビネットを設置してください。

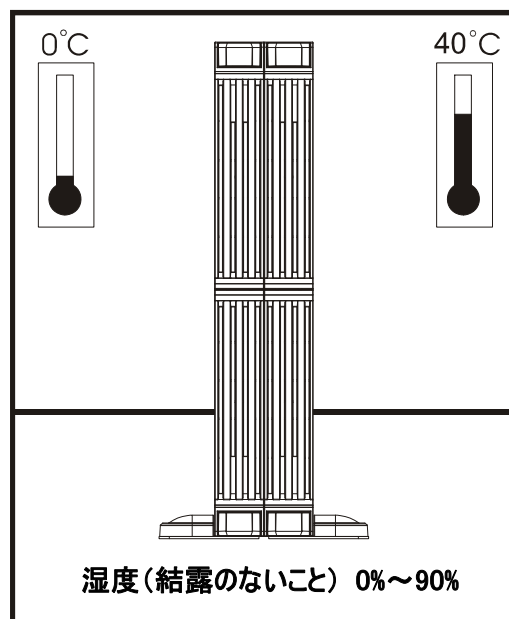
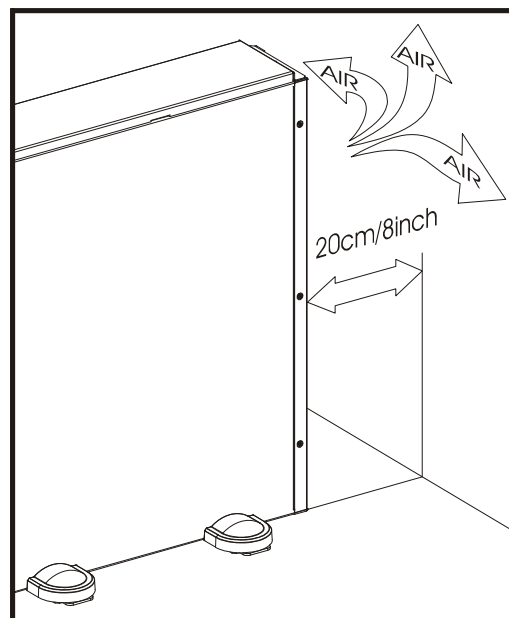
1. バッテリキャビネットの背面は、必ず 20cm 以上のスペースを空けて設置してください。

2. 本体換気孔へ空気の流れが妨げられないようにしてください。

3. 設置する場所は、過度の塵埃がないようにしてください。また、周囲温度と湿度を指定の範囲内に維持してください。

4. 塵埃や腐食剤のある環境、可燃性物質近くにバッテリキャビネットを設置しないでください。

5. 本バッテリキャビネットは、屋外利用向けに設計されていません。

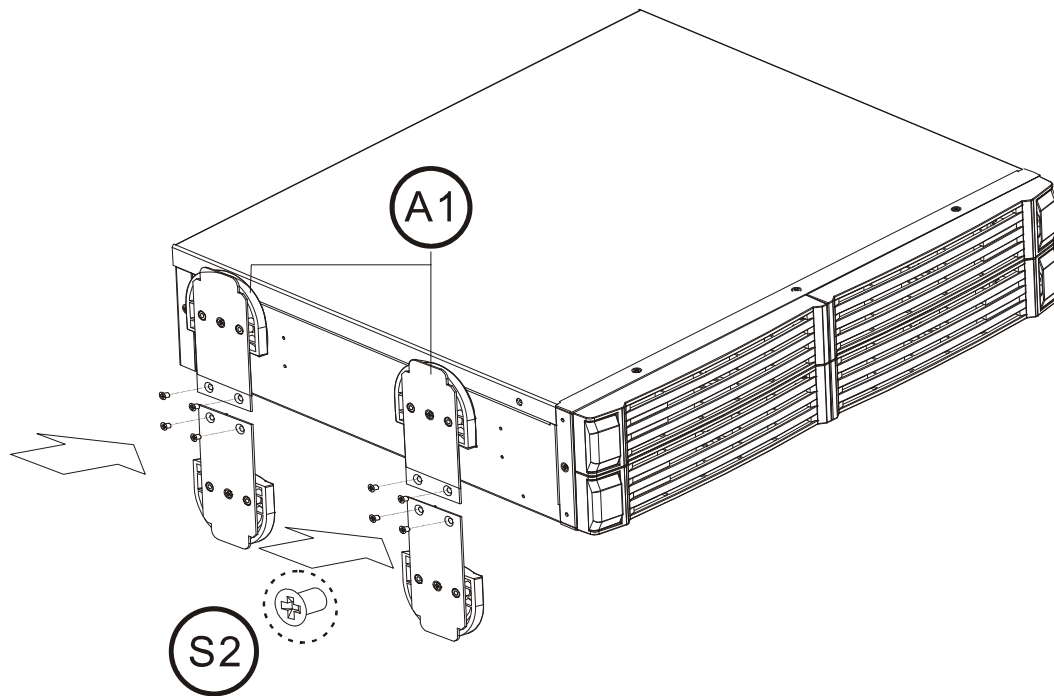
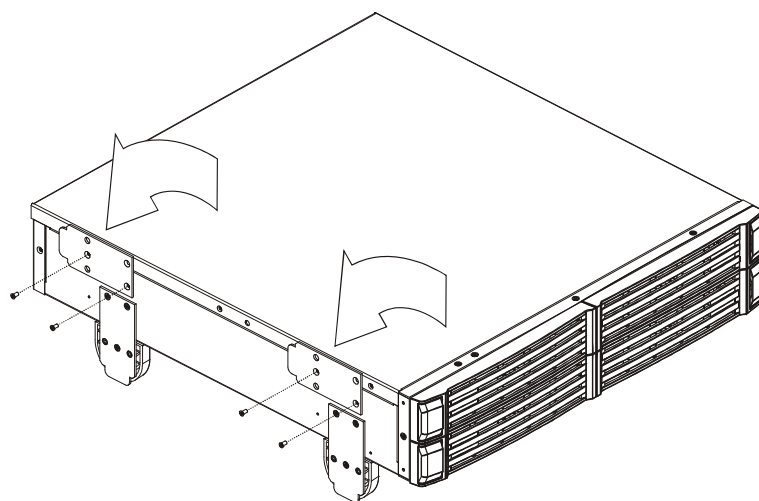
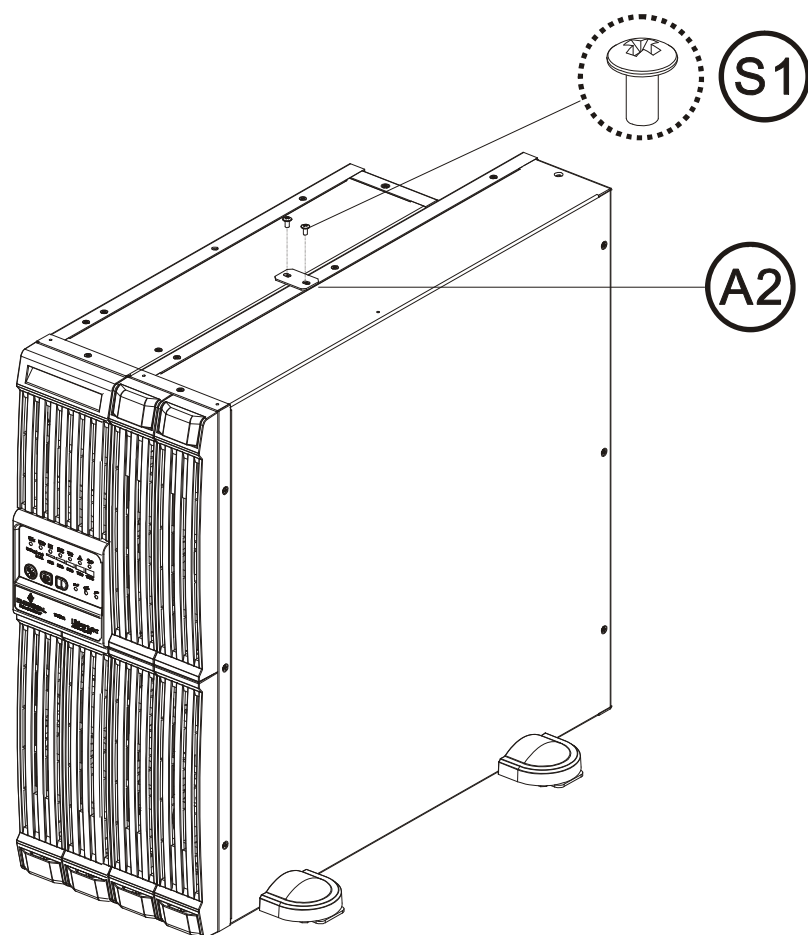
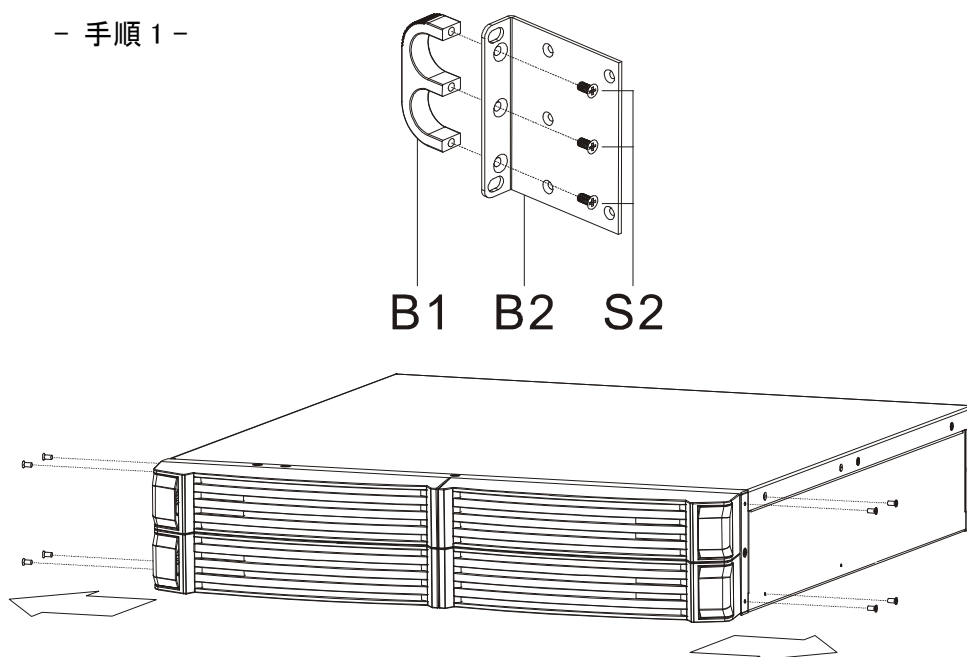
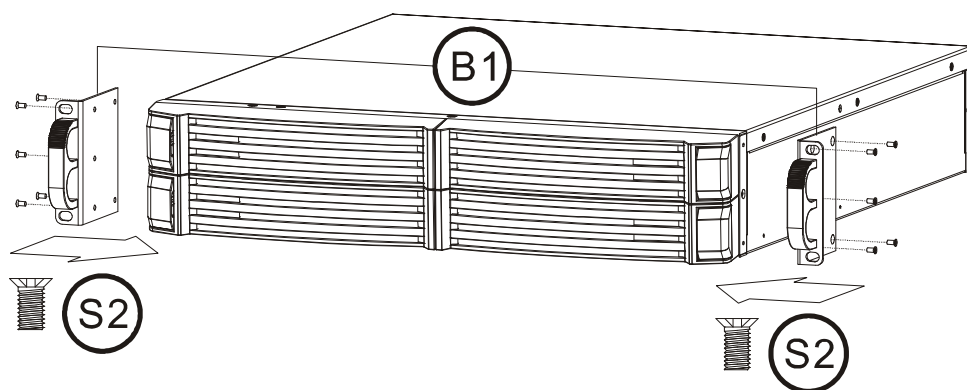
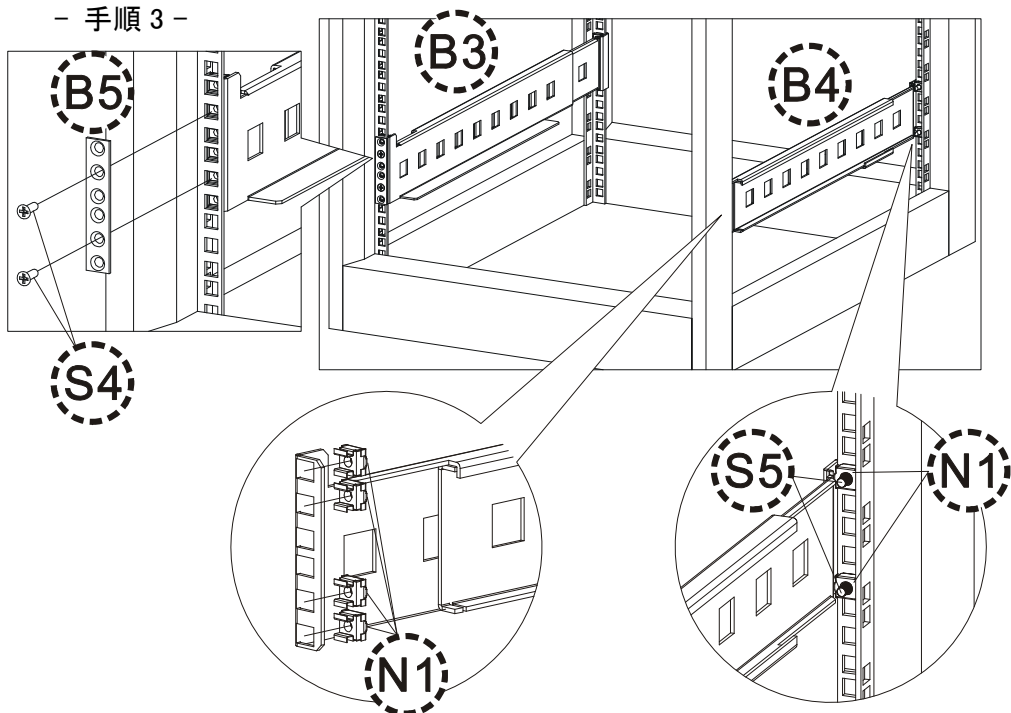
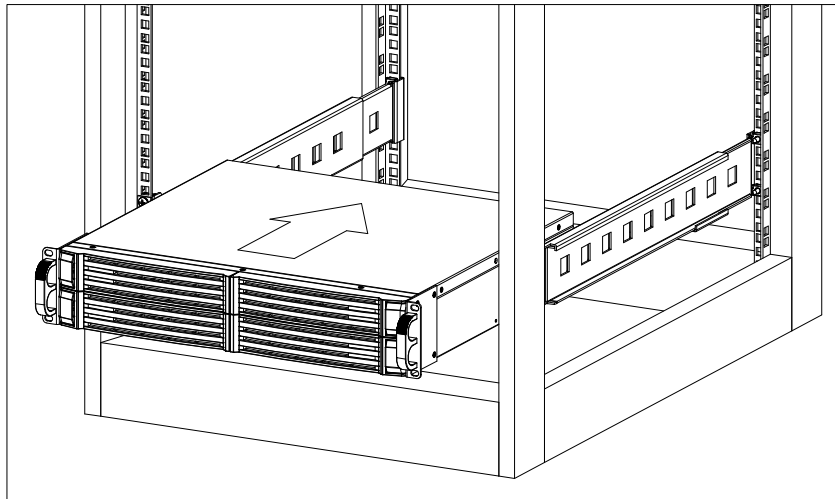
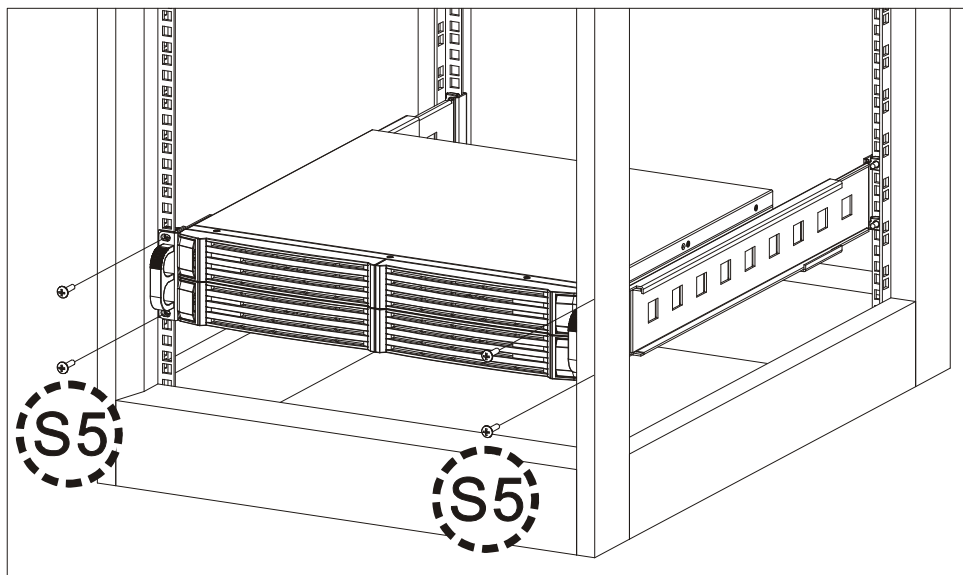
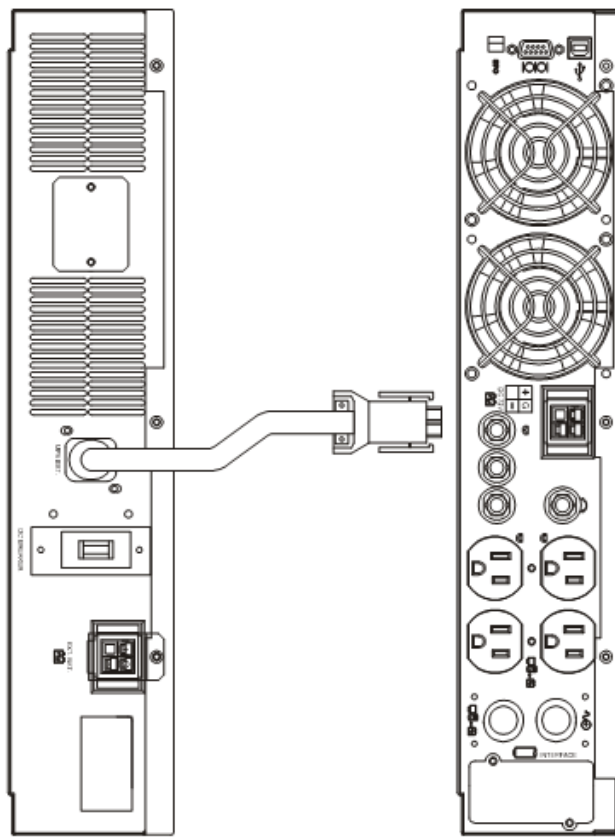
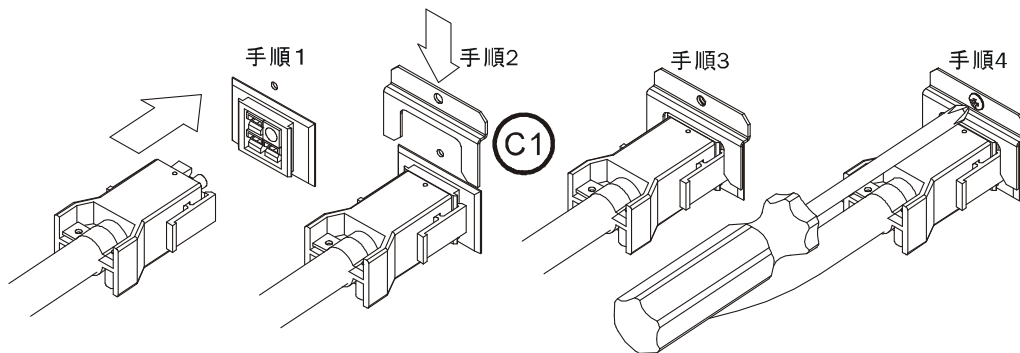
湿度（結露のないこと） 0%～90%

3.3. 設置手順

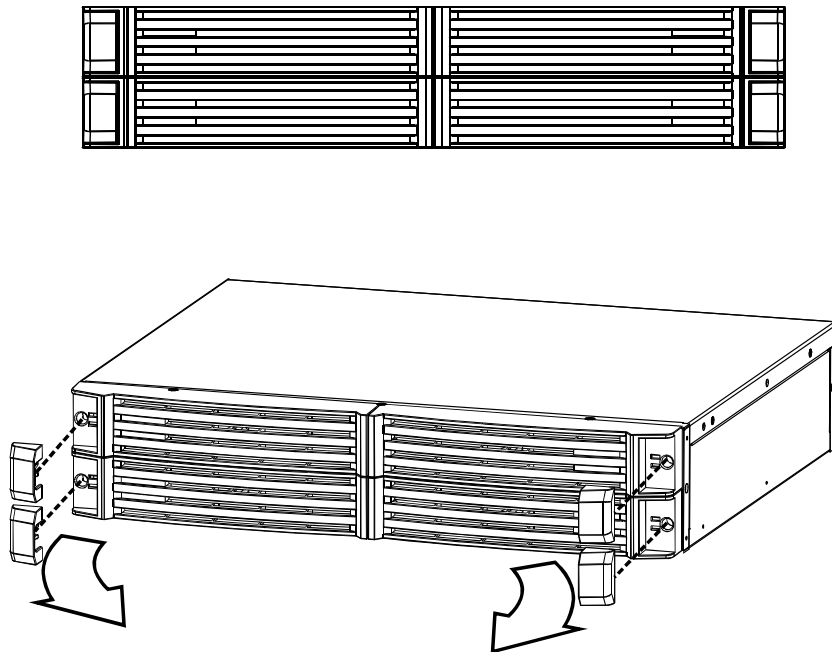
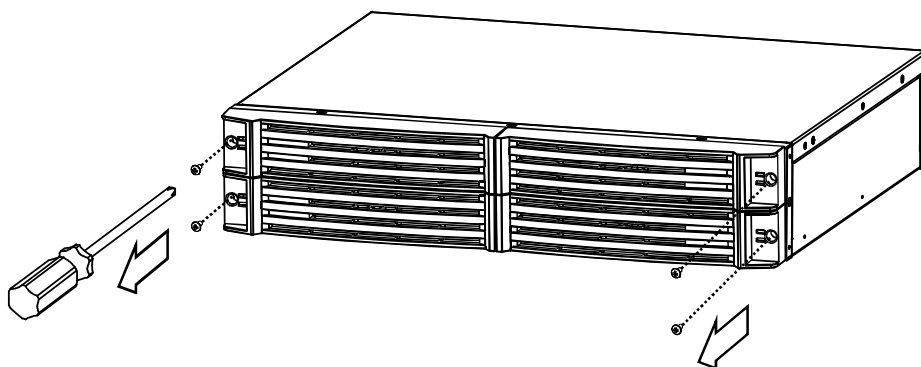
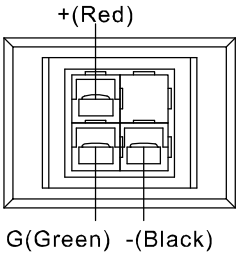
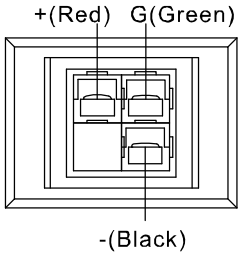
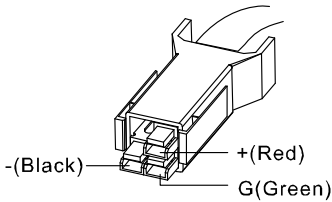
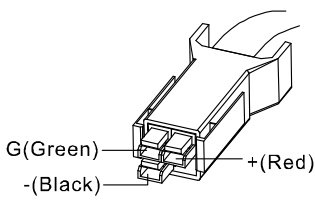
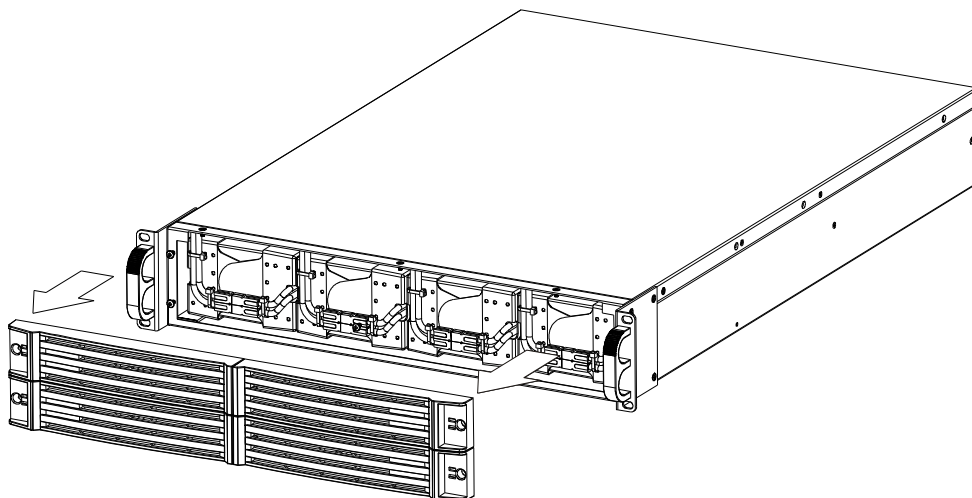
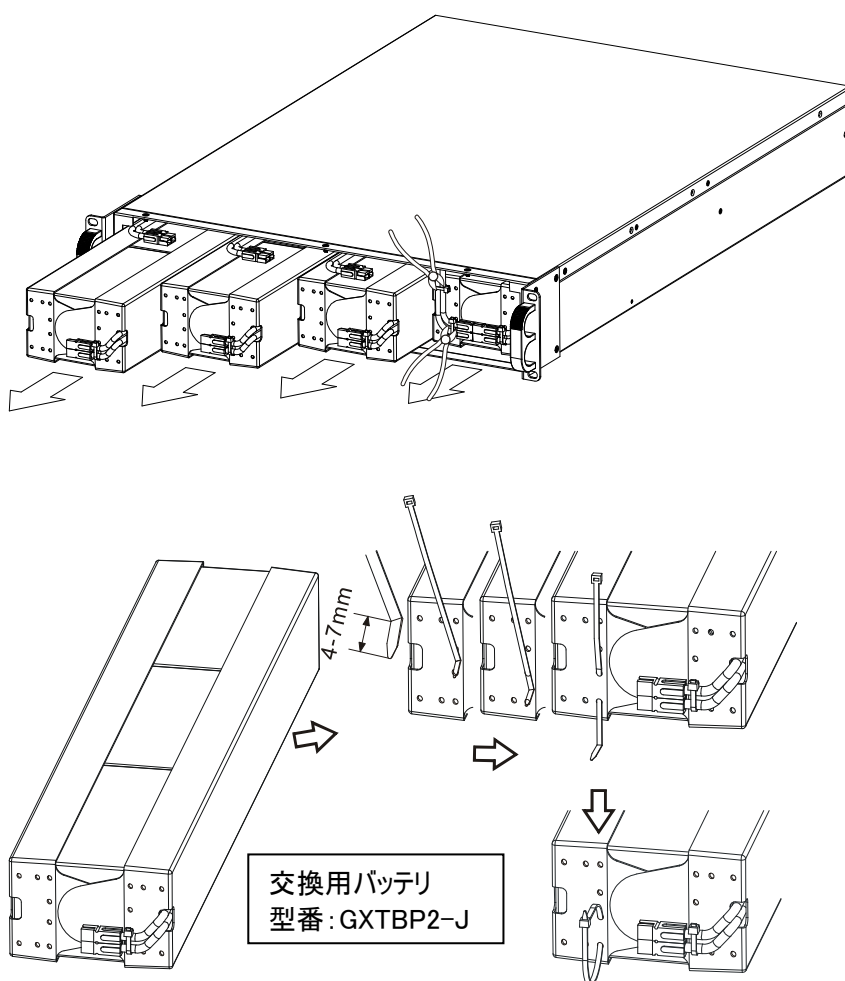
3.3.1. タワー型設置方法

－ 手順 1 －

- UPS と併用

－ 手順 1 －

－ 手順 2 －

3.3.2. ラックマウント型設置方法

－ 手順 4 －

－ 手順 5 －

3.3.3. DC ケーブルの接続

追加バッテリキャビネット UPS

3.4.　バッテリの交換

－ 手順 1 －

－ 手順 2 －

－ 手順 3 －

－ 手順 4 －

4. 仕様

UPS	1KVA/1.5KVA	2KVA/3KVA
バッテリキャビネット型番	GXT36VBATT-J GXT36VBATT-J-RM	GXT72VBATT-J GXT72VBATT-J-RM
交換用バッテリ型番	GXTJBP2-J x 4	
バッテリ容量	12V 9AH×4 個	
電圧	36VDC	72VDC
寸法(幅×高さ×奥)	440x88(2U)x 657 mm	
梱包時寸法	560x228x833 mm	
重量	43.4kg	
梱包時重量	51.4kg ※GXT36/72BATT-J-RM は 54.7kg(レールキット重量含む)	
安全規格	UL1778	
RoHS 指令	準拠(バッテリを除く)	
DC ソケット図	+(Red) G(Green) -(Black)	+(Red) G(Green) -(Black)
DC プラグ図	+(Red) -(Black) G(Green)	G(Green) +(Red) -(Black)

5. バックアップ時間表

GXT−UPS に追加バッテリキャビネットを接続した際のバックアップ時間表です。（単位：分）

GXT1000RT−100J ／ GXT1000RT−100J−RM	本体＋GXT36VBATT−J
200VA/140W	330
400VA/280W	200
600VA/420W	140
800VA/560W	110
1000VA/700W	90
GXT1500RT−100J ／ GXT1500RT−100J−RM	本体＋GXT36VBATT−J
600VA/420W	160
800VA/560W	125
1000VA/700W	100
1200VA/840W	90
1400VA/980W	80
GXT2000RT−100J ／ GXT2000RT−100J−RM	本体＋GXT72VBATT−J
600VA/420W	120
800VA/560W	145
1000VA/700W	120
1500VA/1050W	78
2000VA/1400W	50
GXT3000RT−100J ／ GXT3000RT−100J−RM	本体＋GXT72VBATT−J
1000VA/700W	135
1500VA/1050W	88
2000VA/1400W	60
2500VA/1750W	52
3000VA/2100W	45

＊1　このバックアップ時間データは購入初期時・周囲温度 25℃での数値になります。

＊2　このバックアップ時間データはあくまでも参考値であり、充電状態や周囲温度、使用年数等により異なります。

5.1. バッテリのリサイクル・廃棄について

バッテリリサイクル・廃棄について GXT−UPS は鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリの交換および使用済みバッテリの廃棄については、お買い求めの販売店にご連絡ください。

6. 保証約款

はじめに
保証約款（以下「本約款」）は、取扱い説明書にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず、保証期間内において、製品（付属品等を除く）が故障した場合、本約款に明示した期間、条件の下において、「無償修理または交換」を行うことをお約束するものです。

第1条 定義
本約款で使われる用語の定義は次の各号の通りとします。
① 「製品」とは当社製品として梱包されたものをいい、付属品等は除きます。
② 「故障」とはお客様が取扱説明書の安全注意事項、本体貼付ラベル等の記載事項に基づき正常なご使用状態で、正常に機能しない状態をいいます。
③ 「無償修理または交換」とは製品が保証期間内に故障した場合、当社が無償にて行う製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をいいます。
④ 「有償交換」とは製品が保証期間外に故障した場合、お客様に費用を負担していただいて当社が行う製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をいいます。

第2条 保証期間
保証期間は、購入日より2年間とします。
また、同梱のユーザ登録カードを返送した方が対象となります。

第3条 保証の範囲
取扱説明書の安全注意事項、本体貼付ラベル等の記載事項に基づき正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合、下記内容に従い無償にて製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をさせていただきます。無償修理または交換を受ける場合はユーザIDをご提示の上、お買い求めの販売店にご相談下さい。
3-1 保証の範囲は、製品の交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。
3-2 当社の保証範囲は前記（３－１）記載をもって全てとし、故障によってお客様に生じた損害（事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない）については、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社は一切の責任を負わないものといたします。

第4条 保証の不適用
保証期間内であっても、以下の場合は保証の対象外とさせていただきます。
4-1 使用上の誤り、及び当社の事前承諾なしになされた修理、改造や付加による故障、及び損傷。
4-2 お買い上げ後の落下、取扱いの不注意などによる故障及び損傷。
4-3 火災・地震・風水害・落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、及び通常基準を超える異常な物理的もしくは電気的負荷が加えられたことによる故障及び損傷。
4-4 修理依頼の際、保証書のご提示をいただけない場合。及び以下の各号に該当する場合。
① 保証対象物件の形式・製造番号が修理を行う物件のそれと一致しない場合。
② ユーザ登録カードに、所定記入事項（お買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店名）の記入のない場合、あるいは記載事項が不当な場合。字句を不当に書き換えられた場合。
4-5 消耗部品や、経年劣化により故障したもの。ただし、個別に保証契約を締結するか、または個別に保証の範囲を定めている場合はその個別の契約または定めに従うものとする。
4-6 故障の原因が本製品以外に起因する場合。

第5条 準拠法
本約款の解釈は日本国の法令が適用されるものとします。

第6条 裁判管轄
本約款に関する訴訟の第一審合意管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

第7条 有効範囲
本約款は、日本国内にて発生した故障の場合のみ有効とします